

## 指定管理者制度導入施設の管理運営状況 【対象年度：令和3年度】

※ 1～6：所管課記入、7：指定管理者記入、8～9：指定管理者及び所管課記入、10：指定管理者及び所管課記入（実施した場合）

所管部・課	建設部都市・まちづくり課（飯田建設事務所）
指定管理者	株式会社 うるぎホープ

### 1 施設名等

施設名	長野県南信州広域公園	住所	長野県下伊那郡売木村2653-3
		電話	0260-28-2455
		ホームページ	http://www.hosihinomori.jp/

### 2 施設の概要

設置年月	平成11年4月	根拠条例等	長野県都市公園条例
設置目的	住民福祉の増進に寄与することを目的として、一般住民にレクリエーションの場を提供するため。		
施設内容	オートキャンプ場 テントサイト（個別サイト、キャラバンサイト、フリーサイト）、キャビン、大型キャビン、センターハウス 芝生広場、大型木製遊具、展望台、遊歩道 開園面積：53.8ha		
利用料金	有料施設：テントサイト、キャビン、会議室（施設により料金は異なる。）		
開所日	水曜日（水曜日が休日に当たるときは木曜日）、休日の翌日、12月1日から翌年4月第3土曜日の前日までを除く毎日		
開所時間	8:00～21:00（宿泊有の場合）		

### 3 現指定管理者前の管理運営状況

期間	管理形態	管理受託者又は指定管理者等
～平成17年度	管理委託	みなみ信州農業協同組合
平成18年度～20年度	指定管理	みなみ信州農業協同組合
平成21年度～23年度	指定管理	株式会社 うるぎホープ
平成24年度～28年度	指定管理	株式会社 うるぎホープ
平成29年度～令和3年度	指定管理	株式会社 うるぎホープ

### 4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	株式会社 うるぎホープ	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）
選定方法	公募（応募者数：1者）		

### 5 指定管理料（決算ベース）

令和3年度（A）	令和2年度（B）	差（A）－（B）	※（A）：当該年度、（B）：前年度（以下同じ）
30,367 千円	29,188 千円	1,179 千円	
	増減理由	感染症対策に係る経費の増額	

### 6 指定管理者が行う業務

都市公園等（備品を含む）の維持管理に関する業務及びこれに付帯する業務 オートキャンプ場の利用許可及び利用料金に関する業務並びにこれに付帯する業務
---

(様式2)

## 7 利用実績等

(1) 利用実績【指標：利用者数・利用件数・稼働率】

(単位：人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度(A)	1,880	3,012	1,258	3,031	3,852	1,269	2,524	1,022	62				17,910
令和2年度(B)	430	0	1,315	1,655	6,806	2,797	1,883	1,201	221	冬季休業			16,308
(A)/(B)	437.2	#DIV/0!	95.7	183.1	56.6	45.4	134.0	85.1	28.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	109.8
増減要因等	感染症拡大の影響による休園により、R2年度は4月中旬より5月末まで、今年度は8月下旬から9月上旬まで利用数は大幅に減少となった。R2年度より利用者数の回復は見られたものの、一昨年度(感染症影響前)よりも依然として少ない。												

(2) 利用料金収入

(単位：千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度(A)	3,430	4,492	2,036	4,674	6,495	1,931	3,842	2,006	118				29,024
令和2年度(B)	848	0	1,933	3,024	10,265	4,124	3,135	2,309	446	冬季休業			26,084
(A)/(B)	404.5	#DIV/0!	105.3	154.6	63.3	46.8	122.6	86.9	26.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	111.3
増減要因等	上記(1)と同様。												

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
有・無	

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
令和3年度(A)	255日 令和3年度(A)：8:00~21:00(宿泊有の場合)	有・無	
令和2年度(B)	255日 令和2年度(B)：8:00~21:00(宿泊有の場合)		

(5) サービス向上のため実施した内容

<ul style="list-style-type: none"><li>・感染症の先行きが見えない中の予約変更対策として、繁忙時期の先行予約受付以外は利用日1週間前からのweb予約受付制度へと変更した。</li><li>・集客目的のイベントを計画するも、昨年同様に今期中止せざるを得なかった。春の"焚火ランチ"、夏の"魚のつかみどり"ほか、定例の"星座観察会"などの一部実施できた。</li><li>・村内温泉施設「こまどりの湯」ご協力の下、利用促進策として引く続き入浴割引券の配布を行う。</li></ul>
---

(6) その他実施した取組内容

<ul style="list-style-type: none"><li>・昨年同様および強化策として、以下のような感染症予防措置を実施。(受付時の検温・消毒実施・健康情報シートの確認、宿泊用キャビン棟内へ空気清浄機の設置、ロビーほかトイレ・シャワーの消毒)</li><li>・軽微な修繕を積極的に実施。(キャビン外壁塗装・外壁張替・カーテン更新、便器更新など)</li></ul>
--

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

<ul style="list-style-type: none"><li>・夜間の音楽鳴らしや大声の会話の抑制を。⇒夜間22時の巡回時に対象者に声掛けを実施、利用者多い場合は場内放送も。</li><li>・予約とりづらい。⇒高需要期の先行予約抽選制、通常期は感染症対策を契機に1週間前からのweb予約制度へ完全に移行。電話問合せが急激に減り、問合せ対応は十分できるように易くなった。</li></ul>
--

## 8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	評価
施設の目的に沿った管理運営	管理業務仕様書に沿った・協定書、仕様書、および事業計画書の内容に沿った維持管理に努めると共に、感染症予防の観点から普段からのメンテナンスを見直しも行う。	・協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を実施したと認められる。	B
平等な利用の確保	・高需要期の予約確保軽減対策として、先行予約申込制度を3期間(GW、7~8月休前日、9月連休)に対象枠を設けて、予約とりやすさ向上を図る。 ・同時に提携のweb宿泊予約サイトを活用し、感染症拡大下でも予約が健全に確保できるよう通常期は完全にweb受付へと移行、予約し易さを現状維持した上で、予約キャンセルの混乱を最小限に留めた。	・抽選制により、平等な利用を確保できるよう努めていると認められる。	A
利用者サービス向上の取組	・当施設の季節感のある最新情報を発信する為にSNSサイト(Line@)を活用した。今年もイベント情報の発信ができず、残念な年であった。	・サービス向上に向けて、柔軟な取り組みで対応していることは評価できる。	B
自主事業	・自主事業の中で、1家族単位の利用需要が拡大しトレーラー提供事業のみ拡大した。その他の売店購買事業、レンタル事業、イベント開催事業など全ての事業で大幅に減少となった。	・創意工夫された自主事業が実施されており、施設の設置目的に寄与している。	B
職員・管理体制	・常勤職員4名、非常勤5名。 ・職員毎の利用者対応業務均一化を継続的に実施。予約対応の負担がweb予約移行により軽減された分、感染症予防対策を契機に管理業務の徹底に努めた。	・仕様書及び事業計画書に基づく職員配置が行われており、繁忙期には柔軟な対応をしている。	B
収支状況	・昨年に比べ利用収入がやや回復した分全体収入は確保できたが、今期末での事業終了に伴う費用がかさみ、全体として収支は厳しい結果となった。	・新型コロナウイルス感染症の影響から回復の兆しは見えるものの依然厳しい状態の中での経費削減の努力は評価できる。	B
総合評価	・全体として昨年より利用増加は見られたが、全体の利用は若干増(前年比約110%)となる。感染症影響下で夏の終盤に約2週間の休園措置もあり、一昨年(感染症前)と比べればまだまだ利用の完全回復には至っていない。また出費拡大もあり状況改善は厳しい。	・おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われて	B

- <評価区分>
- A：仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
  - B：おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
  - C：仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
  - D：仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

## 9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
施設の管理運営の課題	・開園23年を経てきており、施設面でキャビンなど有益施設の大規模な設備改修が必要な時期を迎えてきている。優先順位をつけて計画的に実施していかなければならない。 ・利用者対応面では、利用集中による当日の受付混雑に対応すべく、予約・決済システム強化(リアルタイムでweb受付)が急務。これに関わる職員側労力軽減が課題。合わせて園内のWifi環境も整備が急務。	・施設の修繕等が必要な箇所については、実態を踏まえて計画的に対応していきたい。

## 10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況（第三者評価実施年度の翌年度以降に記載）

【実施年月日：令和 元年 11月 14日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課
施設の目的に沿った管理運営	<p>・利用実績によれば、営業期間を通じて多くの利用者に施設が利用されており、「住民福祉の増進に寄与することを目的として、一般住民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供する」という施設の設置目的に適合した管理運営がなされていると評価できる。</p> <p>・施設が清潔に管理されており、適切に施設が管理運営されているものと評価できる。</p> <p>1 指定管理者の報告によれば、利用者の増減に合わせ、場合によっては仕様書に定められた必要回数以上の維持管理業務（清掃・巡回）を行うことを心掛けたということである。これらの業務は施設の管理運営上必要なものと解されるが、一部の職員に過度の負担が生じようこれに対応できる人員の体制が求められる。十分な人員確保のためには人件費の増加は避けられず、適切な施設の管理運営の確保のためにも、将来的な指定管理費の設定に際してこの点は考慮されるべきと考えられる。</p> <p>2 設置の目的に「県外者に長野県の魅力を知ってもらい交流人口を増やすこと」を加えたいかがか。</p>	<p>1(長野県)指定管理料の設定の際には、適切な人員配置や収支状況を十分に検討し、適切な管理運営の確保に努めます。</p> <p>2(長野県)公園の設置の目的に「県内外の人々との交流を盛んにできる場」を追加し、「住民福祉の増進に寄与することを目的として、一般住民にスポーツ及びレクリエーションの場や県内外の人々との交流を盛んにできる場を提供する。」とします。</p>
平等な利用の確保	<p>電話受付先着順の他Web即時予約を併用また、高需要期には抽選制度等を導入し、利用数制限を実施するなど、平等な予約及び予約の簡素化に取り組んでおり、平等な利用の確保に努めていることは評価できる。</p> <p>1 予約は抽選と一部WEBで行っているとのことですが、ネット予約を拡充する必要があると思います。インターネットを利用しない住民が一定数いることにも配慮しながら、web予約を含めた適切な予約方法を模索してもらいたい。</p>	<p>1(指定管理者)今後web予約での受付枠の拡大を検討しています。しかし、当施設独自の要望に対する汎用性に課題もあり、全面的に移行することは難しいため、今後独自のweb予約サイトの導入も含め検討します。</p>
利用者サービス向上の取組	<p>・サービス向上に向けた柔軟な対応として、利用調整の実施、利用促進業務、会員制サービス、売店で物販などに工夫がなされている。</p> <p>・イベントについて頻回に実施されており、利用者サービスの向上に繋がっているものと評価できる。</p> <p>・村内の温泉施設の入浴割引券を配布し相当数の利用に繋がるなど、近隣地域が活性化し、その経済に好影響が生じていると解され、評価できる。相互に好影響が生じるような近隣施設や近隣地域との連携について、今後も期待したい。</p> <p>1 「星の森」という名称からすれば、既に実施されている「星座観察」等の星に関するイベントの数や割合を増やしてもいいのではないかと考える。</p> <p>2 アンケートをIT化することも検討されるとよろしいかと考える。 協定上のアンケートの在り方や協定の内容については、県が精査して最適化されることが望ましい。</p> <p>3 アンケート調査が実施されなかったことは、理由の如何を問わず反省すべきである。また、アンケート実施以外にもwebに書き込まれた口コミ情報等を活用し、利用者の意見等の把握に努め、適宜管理運営に反映させることが望まれます。</p> <p>4 会員制サービスが伸び悩んでいます。利用者数の増大の観点から紹介及びリピーターの普及を図る意味で会員制の促進に努められたい。</p>	<p>1(指定管理者)「星座観察」をテーマとした行事や星座観察を主とした複合的な行事を定期的開催してきております。両イベントも当公園の象徴的な行事として周知されてきているため、今後も開催日程を増やしていけるよう努めます。</p> <p>2.3(指定管理者) webアンケートを試行的に実施してみたところ、わずかな回答しか得られなかったため、回答特典も検討しながら、webアンケート導入を目指していきます。 また、幅広い利用者意見の集約として口コミ情報の把握にも努めます。</p> <p>2、3(県)基本協定書で定める利用者満足度調査については調査の内容を指定管理者と協議のうえ、決定していくよう協定の内容を整理します。</p> <p>4 リピーター利用者の利用割合向上は重要と考えており、引き続き会員制度の充実をその拡充を図ります。</p>
自主事業	<p>・自主事業の工夫により、施設全体の利用増につながっており成果をあげている。</p> <p>・自主事業は指定事業（オートキャンプ場など）に付随する売店、キャンプ用品のレンタルの他、イベント事業を主体とし、指定管理者の負担でトレーラーキャンプ事業を展開している。30年度の収支差額は1,719,594円であり、そのうち、自主事業であるトレーラーとイベント合計の収支差額は1,348,667円であり、30年度収支差額の約78%を自主事業で占めている。</p> <p>・自主事業により順調に収益を上げていることは、施設管理全体における適切な収支の維持や指定管理者の健全な財務状況の維持の観点から重要であり、評価できる。</p>	<p>・(県)引き続き、健全な施設運営を維持、施設の利用増につながる自主事業の実施について指定管理者と検討していきます。</p>

<p>職員・管理体制</p>	<p>・ 広大な施設と多数の利用客をこの職員の数で管理していることは、業務上の工夫と適切な業務委託の利用などの企業努力によるものと解され、評価できる</p> <p>・ 冬季閉園もあって通年雇用が難しい中で、職員の確保に努め、仕様書等に沿った管理体制を確保している。</p> <p>1 一部の職員に過度の負担が生じるなどの事態が生じないように、十分な職員体制が確保され、適切な労務管理が維持されるよう留意してもらいたい。</p> <p>2 サービスの質的向上と安全管理の面で可能な限り職員の増員を含む職員体制の強化を検討されたい。</p>	<p>1(指定管理者)高需要期にはある一定程度の業務負担はやむを得ないが、規定範囲内で最小限にとどめるべく労務管理を実施しています。一部役員は相当量の負担が強いられているのも現実であり、開園日や夜間対応時間の変更、宿直対象業務の対応など、利用者にも理解を得ながら、労働時間の軽減措置も検討します。</p> <p>2(指定管理者)高い稼働頻度での利用状態となっている近年において、増員体制は必須と考え取り組んでいるが、冬季の事業量減少とその人材活用と合わせて考え、増員を図ります。他方、繁忙期にはサービス維持向上の為、臨時的パートの補充を充実させていきます。</p>
<p>収支状況</p>	<p>・ 適切に黒字で経営がなされていて評価できる。</p> <p>・ 適切な収支の状況が維持されており、評価できる。</p> <p>1 自主事業を除く収支はバランスが取れていない。利用者を増やす努力も必要かと思われるが、条例で定められた利用料の見直しも必要かと思われる。県としても指定管理者と相談して、検討されたい。</p> <p>2 閉園後20年経過しており修繕費100万未達が指定管理者の負担というのは高額に感じる。建物とその他施設で負担の線引きを変えてもよいのでは。</p> <p>3 財務状況については貸借対照表が徴取されていない。所管課は毎年度財務諸表を入手の上、財務内容の健全性を確認されたい。</p>	<p>1、2(長野県、指定管理者)利用料、修繕費の線引きについては指定管理者と十分に協議・検討します。修繕費の負担額については軽減措置は望まれる一方で、緊急性に応じた決定権限についても県と協議を行っていきます。</p> <p>3(長野県)事業実績報告書に財務諸表を添付することとします。</p>
<p>総合評価</p>	<p>・ 大変良い運営をされており、おおむね評価できる。</p> <p>・ 全体として、適切に施設の運営管理がなされ、多くの利用者に利用されており、収支状況も良好であって、優れた管理運営がなされているものと評価できる。</p> <p>・ 公(県)の施設であることを十分に理解して、県とも連携を取ながら適切な管理運営が行われていると認められます。</p> <p>売木村にとっても大切な就労の場となっており、村内、県内の観光施設との連携を取って今後も職員体制の充実、利用者へのサービス向上を更に推進してくれることを期待します。</p> <p>1 ペットを連れての利用を禁止しているが、今やペットは家族の一員であり20年前の開業当初とは環境も変化している。連れ込みのニーズも高まっているので、賛否両論ある中で、利用者の満足度を高めるため、ペット同伴可としている他の広域公園等の例を参考にエリア分け、ドックランの整備、ペット受け入れマナー条件を整備するなどしてペットの連れ込み禁止の規定を見直し、受け入れを検討してはいかがでしょうか。</p> <p>2 基本協定書において冬期休業期間が定められていますが、ウインターキャンプや雪中キャンプも流行しており、需要も見込めるので、休場期間中であっても道路が閉鎖される期間を除き、水の持ち込み等のサービス制限を条件としたプレ・オープンも検討されたい。</p> <p>3 会議室の利用が低調であり、会議室を利用したイベントを企画し利用頻度を高めるよう努められたい。</p> <p>4 業務委託契約については随意契約となっていますが、一定額以上の契約については、入札又は相見積もりを原則とすることが望まれます。</p> <p>5 施設管理運営の課題として指定管理者が認識している、本公園の長期的ビジョンについては、施設の所有者は県であり、指定管理者が年度毎に作成する管理計画書とは別に、本公園の中長期計画(方針)を県が作成し、指定管理者と共有することが望まれます。</p>	<p>1(指定管理者)ペット同伴の需要は、アンケート等でその動向をみながら検討します。今後の方向性としてシーズンやエリア等、受入条件を整備し、受入れを検討します。</p> <p>2(指定管理者)冬季の公園活用については設備面での水供給、坂道の除雪・凍結防止措置の問題があり現状では困難。</p> <p>3(指定管理者)野外施設として悪天時の緊急避難場所としての目的を損なわない範囲で、その他の活用についてはイベント開催を含め検討します。</p> <p>4(指定管理者)業務委託契約について、指定管理期間更新時期に合わせ相見積もりを実施するよう努めます。</p> <p>5(長野県、指定管理者)長野県公園長寿命化計画を共有し、計画的に施設の維持管理を行い、施設を健全な状態に保ちつつ長持させることを目指します。</p>